

# 教員基礎演習 I 授業研修会に参加して

教育学部 准教授  
修士（教育学） 丹 洋一

## 1. 始めに

先週に引き続いて、1年生対象にした教員基礎演習 I の授業見学である。橋本琢先生による小学校全科の国語の文学史の範囲をどのように学習するか、前回との違いも気になり、興味をもって参加した。

## 2. 授業の進め方について

来週のまとめテストのことを説明する。

(1) はじめに前回の範囲 55～59 まで、問題と答えを読んで暗記する。（10 分間）

(2) 今日の範囲の学習をする。60～63

① 小問ごとに学生を指名して、問題と回答、次に解説を読ませる。

② 解説に線を引かせてから、暗記させる。（簡単なものは 30 秒、多いものは 7 分）

※分からない漢字には、ふりがなをつけること。

①②のくり返し

③ 全体の暗記の時間（3 分間）

④ 確認テスト（3 分間）

⑤ 教員が答えを読んで、採点させる。

今回の授業でまず勉強になったのは、授業の始めに時間をとって、前回の復習をしたことである。授業中何度も暗記し、家庭でも暗記し、そして授業の始めにも暗記するということを徹底していると感じた。また、暗記させる際の、暗記の時間をどのように設定するかが気になった。年間の計画もあり、その時間中に進行しないといけないという焦りもある。そこをしっかりと計画していかなければと思った。

今回の指導の工夫と感じたことを以下に記載する。

- ・ 作者と作品の冒頭部分の組み合わせの問題に関しては、作品名を挿入する。
- ・ 古文については文章の意味を説明してから暗記させる。（鴨長明：方丈記）
- ・ 問題に、詩集、小説と書き込んでから、暗記する。
- ・ 丁寧に一文ずつ暗記させている。全体の暗記と振り返りを大事にしている。
- ・ 学生に丁寧に対応している。「読んでもらえますか。」などの言葉遣いと学生からのテストの質問に対して、前回と合わせて、先生の対応に感心させられた。

### 3. おわりに

授業の終わりに、総長先生から、「家に帰ったら暗記して、寝る前に暗記して、暗記が勝負だから。

みなさん、受かってくださいね。」という励ましの言葉をいただいた。今回の授業でも、いかにくり返しと集中が大事であるかを確認した。1年生の内からくり返し集中して暗記することを経験していけば、力がついていく。そして本当に理解できているかを、授業中にきちんと確認して、「できない子ができる子にしていく」ことを、私もやっていこうと思う。